

沿岸広域振興局長

提出者 龍振鋳業株式会社

住所 〒022-0005岩手県大船渡市日頃市町字石橋16-1

氏名 代表取締役社長 渡邊禎三

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

## 地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

## 1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	龍振鋳業株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県大船渡市日頃市町字石橋16-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,685 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

## 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
龍振鋳業株式会社	〒022-0005 岩手県大船渡市日頃市町字石橋16-1	3,685 kl
		kl
		kl

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途岩手県作成の上、添付してください。）  
(A4)



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )					前年度二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D								
原油(コンデンセートを除く)		kL										
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL										
揮発油(ガソリン)	9.00	kL	301			301	20,611	18	2			
ナフサ		kL										
ジェット燃料		kL										
灯油	5.00	kL	183			183	12,513	15	-3			
軽油	2,485.00	kL	94,430			94,430	6,509,375	7,138	-629			
A重油		kL										
B・C重油		kL										
石油アスファルト		t										
石油コークス		t										
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t									
	石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>									
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t									
	その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>									
石炭	輸入原料炭		t									
	原料炭		t									
	吹込用原料炭		t									
	一般炭		t									
	輸入一般炭		t									
輸入無煙炭		t										
石炭コークス		t										
コールタール		t										
コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>										
高炉ガス		千m <sup>3</sup>										
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>										
転炉ガス		千m <sup>3</sup>										
その他の燃料	都市ガス		千m <sup>3</sup>									
	( )											
黒液		t										
木材		t										
木質廃材		t										
バイオエタノール		kL										
バイオディーゼル		kL										
バイオガス		千m <sup>3</sup>										
その他バイオマス		t										
RDF		t										
RPF		t										
廃タイヤ		t										
廃プラスチック(一般廃棄物)		t										
廃プラスチック(産業廃棄物)		t										
廃油		kL										
廃棄物ガス		千m <sup>3</sup>										
複合廃材		t										
水素		t										
アンモニア		t										
その他燃料( )												
小計①						94,913	6,542	7,171	-629			
産業用蒸気		GJ										
産業用以外の蒸気		GJ										
温水		GJ										
冷水		GJ										
地熱		GJ										
温泉熱		GJ										
太陽熱		GJ										
雪氷熱		GJ										
小計②												
電気事業者①	5,536.00	千kWh	47,831			47,831	2,186,720	2,743	-556			
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh										
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh										
自家発電	太陽光	36.00	千kWh	130		130						
	水力		千kWh									
	風力		千kWh									
	その他		千kWh									
小計③						47,961	2,187	2,743	-556			
合計 ①+②+③						142,874	8,729	9,914	-1,185			

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	3,686	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	8,729 t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の二酸化炭素	t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
合計	8,729 t-CO <sub>2</sub>	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況（進捗状況）】

2022年度から2024年度までに、CO2排出量を2021年度比3%削減する目標を掲げて取り組みを行ったところ、2024年度は、石灰石採掘量減による鉱山機械の軽油使用量減の影響で、CO2排出量が前年度比88%となった。また2021年度比では77.4%で3カ年3%削減目標は達成している。

■エネルギー使用原単位

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
エネルギー使用量 原油換算 (k1)	4,825	4,290	3,966	3,686
原石採掘量 (千トン)	2,929	2,648	2,423	2,223
エネルギー使用原単位 (k1/千トン)	1.647	1.620	1.637	1.658
エネルギー使用原単位の対前年度比 (%)	—	98.3	101.0	101.3

■CO2排出量の変化状況と設備投資による削減量

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2排出量 (t-CO2)	11,275	10,193	9,914	8,729
CO2排出量対前年度比 (%)	—	90.4	97.3	88.0
CO2排出量対2021年度比 (%)	—	90.4	87.9	77.4
設備投資による取組削減量-累積 (t-CO2)	—	27	74	91
( ) 内は、当該年度の取組削減量 (t-CO2)	—	(27)	(48)	(17)
取組（設備投資）による削減蓄積量 (t-CO2) (2022年度～2024年度)	—	27	101	192
取組（設備投資）による対2021年度比削減-累積 (%)	—	-0.2	-0.9	-1.7

■計画に対する取組削減状況

◇電気使用設備（太陽光発電含む）

2022～2024年度取組削減計画（電気全体）：290（千kWh）

2024年度取組実績（電気全体再エネ含む）：43（千kWh）17（t-CO2）

2022～2024年度 累積：197（千kWh）91（t-CO2）

◇再生可能エネルギー

1）太陽光発電設備導入（自家消費）

① 炭下採掘事務所 容量15kW→2023年度設置済み稼働中

② 石橋本社事務所 容量20kW→2023年度設置済み稼働中

[発電量①+②] 計画：30（千kWh） 累計実績：15（千kWh）

2023年度：15（千kWh）

① 骨材P歩留り向上及び3Cr破碎機稼働電力低減→2022年度実施済み

[削減量 計画：70（千kWh） 累計実績：46（千kWh）]

2022年度：20（千kWh）2023年度：26（千kWh）

② 照明設備LED化（2022～2024年度）

[削減量 計画：25（千kWh） 累計実績：13（千kWh）]

2022年度：8（千kWh）2023年度：5（千kWh）2024年度：5（千kWh）

③ 揚水ポンプ2台INV化（2022～2023年度）

[削減量 計画：40（千kWh） 累計実績：8（千kWh）]

・2023年度1台実施済み、2台中1台見送り

④ 変圧器5台高効率化（2023～2024年度）

[削減量 計画：25（千kWh） 累計実績：7（千kWh）]

・2023年度3台実施済み、2024年度2台次年度に見送り

⑤ コンベヤベルト1300m省エネベルト化（2022～2023年度）

[削減量 計画：15（千kWh） 累計実績：16（千kWh）]

2022年度：8（千kWh）2023年度：8（千kWh）2024年度：8（千kWh）

⑥ トンネル坑道照明不要時消灯・照明SW遠隔操作化（2023～2024年度）

[削減量 計画：100（千kWh） 累計実績：31（千kWh）]

2023年度：31（千kWh）2024年度：30（千kWh）

⑦ コンベヤ運搬終了時の時短（空運転低減）（2022年度）取組見送り

[削減量 計画：15（千kWh） 累計実績：0（千kWh）]

⑧ 【計画外】高効率電動機への転換→2022年度実施済み

[削減量 計画：計画外 累計実績：18（千kWh）]

◇燃料使用（軽油）

① セメント採掘3地区（坂下・大平・炭下）から

2地区（大平・炭下）に集約（2022年度）

[削減量 計画：60（k0） 累計実績：0（千kWh）]

・安定出荷確保、採掘計画見直し等で採掘集約による

重機稼働減とならなかった。

※2027年度にはセメント採掘を1地区に集約し

採掘機械台数縮小の計画である。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

・毎月1回、原価会議を開催し、エネルギー使用の合理化推進を図っている。燃料消費設備では採掘重機毎の燃料消費量及び燃料原単位、電気使用設備では電力使用量及び電力原単位の各実績管理を行い、改善が必要とされる内容については改善策を策定し措置を行っている。

・紙ごみ、ガラス瓶、空き缶等は分別回収を徹底している。

・紙使用量削減を目的に、複数ページ印刷又は、コピーの場合は、両面印刷、両面コピーを推進している。

・エアコンの適切温度設定を推奨し、フィルターのこまめな清掃を推進している。